

小樽・鉄路・写真展

Otaru Open-air Photo Exhibition
in Former Temiya Railway

13th 2012

2012 小樽・鉄路・写真展 開催のお知らせ

小樽・鉄路・写真展実行委員会

事務局 札幌市西区八軒10条東1丁目5-25 リバーサイドミュージーゲ1F スタジオRISE内

代表 橋本 つぐみ / 広報 瓜生 裕樹 (うりゅう・ゆうき)

広報連絡先 090-2428-0987 tetsuroten@tetsuroten.org

<http://www.tetsuroten.org/> Twitter @tetsuroten (ハッシュタグ #tetsuroten)

<http://www.facebook.com/tetsuroten>

北海道最古・日本で三番目に古い鉄道の跡地、小樽・旧手宮線。132年に亘りこの街を見つめてきた歴史的空間を舞台に、今年も野外写真展『小樽・鉄路・写真展』を開催させていただくこととなりました。

13年目を迎える"鉄路展"は、小樽の街の歴史を今に伝える廃線上を舞台に写真を見る・見せる、他にないユニークな写真展として、毎年多数の来場者・出展者の共感をいただいています。今年も沿線地域住民の皆さま、土地管理者の小樽市、そして出展者のご理解とご協力を得て、小樽のこの場所ならではのオンリーワンの写真展として、一人一人が主役という意気込みのもと、準備を進めております。

プロカメラマンや写真愛好者から学生に至るまでの幅広い出展者による、自由で個性的、のびのびとした作品群と、例年ご好評をいただいています「私にとっての小樽」をテーマに迫力ある展示を行う企画展エリアで構成し、夜間も照明により24時間展示を行います。たくさんの皆さまに小樽の街の魅力、そして写真の力を感じていただきたいと思っております。今年もご取材並びに広報のご協力を頂きますよう、ご案内申し上げます。

名 称 **2012 小樽・鉄路・写真展** (おたる・てつろ・しゃしんてん)
主 催 小樽・鉄路・写真展実行委員会
場 所 小樽市色内2丁目10番・11番横 旧手宮線跡地(マリンホール裏手)
期 間 2012年8月27日(月)より9月9日(日) 14日間 (8月25日(土)・26日(日)は搬入日)
時 間 24時間 夜間照明あり(最終日9月9日は午後5時まで)
入 場 料 無料
出 展 者 40名(予定) 小樽・札幌を中心に、道内各地から参加
協 賛 (有)石崎電気商会(照明設備設営協力)

出展について

作品内容、展示形態は出展者の創造力に任せ、自由であることを基本としていますが、自分の写真に対し、一生懸命なことを条件とします。また小樽での写真展ですので、小樽にこだわった写真を歓迎しています。技術的なレベルは問いません。初心者からプロカメラマンまで、毎年多彩な出展者が集まります。ご興味のある方・来年の出展を希望される方には会場内のアンケートやメールにて受付を行っており、例年春から会議を重ね、準備をしています。

参加の要件は、以下の通りです。

- 写真展の趣旨を理解し積極的に参加する方。
- 日程や時間を守り(原則として出展者自身で作品を搬入、搬出をお願いしています。)、公募展の意義を理解できる方でしたら、年齢、職業、経験などの制限はありません。
- 出展者は協賛金(出展費用)一人4,000円を分担し、自主運営を行っています(学生は2,000円、高校生は1,000円)。